

 **studiologic**[®]
m a d e t o p e r f o r m

numapiano



オペレーションマニュアル

Version 1.1

重要安全事項



高電圧注意！

感電の恐れがあるため、分解は絶対におやめください。本体内部にスペア部品などは一切付属しておりません。修理は当社のサービスセンターまでお申し付けください。



電源について

電源供給は定格のアダプターをご使用ください。



湿気について

感電のリスクを避けるために、本機を雨や湿気の多い場所には設置しないでください。また、液体を含むものを本体の上に置くこともおやめください。プールやパスタブ、湿気の多い地下室などでのご使用もおやめください。

本機を低温の場所から高温の場所へ移動した場合、本体内部に凝結が発生する場合があります。この場合、本体が部屋の気温に十分馴染んでから電源をお入れください。



設置について

サイズ、重量を考慮し、安定性の高いラックをご使用ください。

お掃除／メンテナンスについて

強力な洗剤は絶対に使用しないでください。表面にしみがつく原因となります。軽く水をしみこませたマイクロ繊維の布でのお掃除をお奨めいたします。



付属品はマニュアルに従い、メーカーが明記されたもののみをご使用ください。指定された以外のことで、本機に不具合が発生した場合、保証を受けられなくなりますのでご注意ください。



本機の性能を知っていただき使いこなしていただくために、本マニュアルの熟読をお奨めいたします。

安全にご使用いただくために	2		
あなたの新しいNUMA Piano	4		
本マニュアルの機能説明について	5		
コントロール・パネル / コネクション	5		
NUMA Pianoをご使用になる前に	6		
プリセット / サウンド	7	デモソング	
	7	プリセットの呼び出し	
	7	サウンド・エンジン / サウンド・セレクション	
	7	EQ / ボリューム	
	7	トランスポーズ	
	7	ピッチホイール	
レイヤー / スプリット	8	レイヤー	
	8	スプリット	
	8	スプリット / レイヤー・レベル	
	8	スプリット・ポイント	
	8	オクターブ・ロウワー / オクターブ・アッパー	
	9	ホールド	
	9	エクスプレッション	
エフェクト	10	エフェクトの選択	
	10	スプリット / レイヤーへのエフェクト・アサイン	
	10	フリー・ホイール	
ペロシティ	11	ペロシティ	
	11	固定ペロシティ	
	12	Fatar タッチ	
グローバル・ファンクション	12	プリセットの保存	
	13	ファクトリー・プリセットの復元	
	13	パニック	
	13	マスター・チューン	
	13	システム	
MIDI	14	MIDI コネクション	
	14	マスター・キーボード機能	
	15	サウンド・セレクション	
	15	エフェクト・コントロール	
	16	調整の記録	
	16	マスター・チューン	
トラブルシューティング	17	トラブルシューティング	
保証	18		

この度はNUMA Pianoをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は、Fatar社Studiologic®製の最先端技術を投入したキーボードです。

NUMA Pianoは、簡単な操作と、完璧なキーボード・タッチを実現しています。本製品の性能をフルに活用していただくためにも、本マニュアルの熟読をお奨めいたします。

革新的なグランドハンマー・タッチ



NUMA Pianoには、名高いFatar社の最新技術が惜しみなく投入されています。その筆頭として、洗練された軽量のハンマー・アクションを採用したキーボードTP / 100の採用があげられます。リアルなグランドピアノ・タッチを実現しながらも、本機の重量はわずか11.3kgと、持ち運びに大変適しています。

内蔵音源

丁寧にサンプリングされた12種類の高品質な音色が用意されており、すぐに演奏することができます。経験を積んだキーボードプレイヤーやミュージシャン達が設計に参加して選ばれた音色は、音楽スタイルの如何に関わらず、ステージ上で、スタジオで、また自宅で活躍してくれることでしょう。

128音ポリフォニーを実現しており、深みと表現力を与えてくれます。また、2音色をレイヤー / スプリットすることができ、内蔵モジュレーションやリバーブ・エフェクトを加えることができます。

マスター・キーボード機能

NUMA Pianoのマスター・キーボード機能は、他のMIDI機器を制御することを可能にします。次のトラックの音色を選んだり、レベルを調整したりということが、他の機器に触れることなくNUMA Pianoから直接行えます。

オーディオ接続



NUMA Pianoは、ステレオアウトに加え、2系統のヘッドフォン出力を備えています。これは音楽スクールなどで、隣人に迷惑をかけることなくジャムセッションを行うといった用途に最適でしょう。また、MP3プレイヤーやMIDI音源モジュールをNUMA Pianoのオーディオ入力に接続すると、それらの接続された外部オーディオ機器とNUMA Pianoの内蔵音源を直接ミックスすることができます。

インタラクティブなNUMA USB ⇄ コンピュータ



USBポートを使ってNUMA Pianoとコンピュータを接続すると、MIDIデータ転送をUSBとMIDIアウト並列で行うことができます。またサウンド・ライブラリや、ファームウェアの更新もUSBを介して行われます。

同梱物

NUMA Piano
電源コード
サスティン・ペダル VFP-1
譜面台
オペレーション・マニュアル

オペレーションボタンにつきましては、全て太字にて記述されています。
(例：オン / オフ)

2つのボタンを同時に押すと、「&」が表示されます(例：**Split & Bass 2**)。
両ボタンを同時に押すか、1つのボタンを押しながら、もう1つのボタンを押すこともできます。



本マニュアルでは、ファンクション・キーを押しながら行う操作については**太字下線**で表示されています。ファンクション・キーを押し続けた状態でもう一方のボタンを押します(例：**ファンクション & トランスポーズ**)。

値は、NUMA Pianoのディスプレイに**太字**で表示されます。(例：**P01**)
値を調整するには、ディスプレイ下の**バリュウー +/-** ボタンを使用します。1単位ではなく、10単位で値を変えたい場合は、バリュウー +/- ボタンを数秒間押し続けてください。

ヒント：より詳しい情報をStudiologicロゴがついたテキストから見つけることができます。



コントロール・パネル

<p>ディスプレイ バリュウー +/- ボタン 値の調整と表示</p>	<p>サウンド・バンク サウンド、スプリットとシステムフィグレーション 7,8 ページ</p>	<p>アウトプット EQ とボリュームの調整 7,8 ページ</p>
<p>MIDI モジュール マスター・キーボード・ファンクション 14ページ</p>	<p>エフェクト モジュレーション / リバープ・エフェクト 10ページ</p>	<p>Fatar タッチ オリジナルのペロシティ・カーブを作成可能です。12ページ</p>

コネクション / 背面パネル

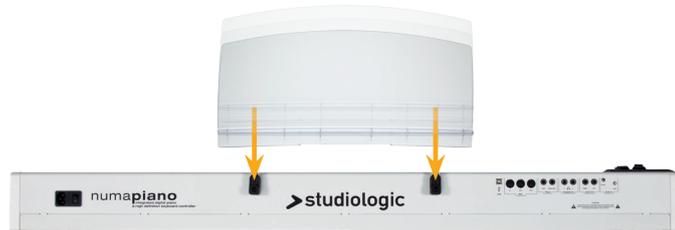
<p>フューズ 1.0A, F, 250V 6ページ</p>	<p>USB ポート MIDI I / O とソフトウェア・アップデートに使用 13ページ</p>	<p>ホールド エクスプレッション・ペダル ペダルを接続するコネクション 9ページ</p>	<p>オーディオ出力 L / R 2x 6,3mm モノ・ジャック 6ページ</p>
<p>電源 100V - 240V 6ページ</p>	<p>MIDI In-Out-Thru MIDI の送受信に使用します 14ページ</p>	<p>ヘッドフォン出力 1 / 2 2x 6,3mm ステレオ・ジャック 6ページ</p>	<p>ステレオ・オーディオ入力 レベル 3,5mm ステレオ・ジャック 6ページ</p>

電源接続

付属の電源コードを使用し、NUMA Piano本体の電源ソケットに接続します。電源ソケットのそばにあるスイッチで本体の電源を入れることができます。

譜面台

本体後方の棚受けに付属の譜面台を設置することができます。



サスティーン / エクスプレッション・ペダル

ホールドと書かれたソケットに付属のVFP 1を接続してください。エクスプレッションと書かれたソケットには、Studiologic製ペダルVP 27 (オプション)を接続することができます。

注意：他社製ペダルを接続する場合は、17ページの「トラブルシューティング」をご参照ください。

オーディオ出力

オーディオ出力 (左 / 右) をお手持ちのミキサー、アンプなどに接続してください。

ヘッドフォン

お手持ちのヘッドフォンをヘッドフォン出力に接続してください。同時に2つまでヘッドフォンをご使用いただけます。

ボリューム

初めて本機をご使用になる場合、**Volume** (ボリューム) ・ノブを半分以下に設定してから使用いただき、その後演奏をしながらレベルを調整することをお奨めいたします。**Volume** (ボリューム) ・ノブの調整は、全てのオーディオ出力、ヘッドフォン出力に影響します。



警告:

オーディオ機器の破損、故障の原因となる場合があるため、長時間の大音量でのご使用はおやめください。

オーディオ入力

本機ではMP3プレイヤーやMIDI音源モジュールなどの外部オーディオ機器を接続することができます。本体背面のジャック付近にある**Level** (レベル) ノブで入力レベルを調整することができます。

USB

USBを介してのデータ転送は、本体とコンピュータをUSBケーブルで接続します。初めて本機の電源を入れると、コンピュータ側で自動的に認識され、OSによって適切なドライバーがインストールされます。(インストールされたOSのバージョンにより、この限りではない場合がございます)

ピッチ

・±2 セミトーンのピッチバンド
を行います



**ディスプレイ - バリュ
+ / -**
・プリセット・リコール

オン / オフ - デモ

・サウンド・エンジンのオン / オフ
・デモソングの再生



ファンクション
・**トランスポーズ**と組み合わせて使用

サウンド・バンク

・12個のインターナル・サウン
ドにダイレクト・アクセス

トランスポーズ
・他のキーにキーボードをトラ
ンスポーズ

バス / トレブル

・EQ : 高域、低域周波数の
カット / ブースト



ボリューム
・サウンドのレベル

デモキーを数秒押したままの状態にすると、デモソングを聞くことができます。デモは自動的に始まり、ディスプレイには**DEM**と表示されます。**バリュ
+ / -** キーを使って、前後のデモソングにスキップすることができます。

デモソング

P05のように**P**の後に2桁の数字が表示されている場合、**バリュ
+ / -** キーをつかって任意のプリセットを呼び出すことができます。NUMA Pianoには、24のファクトリー・プリセットが用意されています。各プリセットに割り当てられたプログラムチェンジ・ナンバーについては、15ページの「サ
ウンド・セレクション」をご覧ください。

プリセットの呼び出し

サウンド・エンジンは**On / Off**ボタンを使用して有効、無効を決めることができます。音色名のラベルがついた12個のボタンを押していただくと、音色が選択され、選択されたボタンが点灯します。

**サウンド・エンジン
/ サウンド・セレクション**

NUMA Pianoのサウンドが周囲に馴染むよう、アウトプット・セクションにあるバスとトレブルノブを使って低域と高域の周波数をカット、ブーストすることができます。**ボリューム・ノブ**は、音のボリューム・レベルを設定できます。

EQ / ボリューム

苦手なキーでの演奏が要求される時、トランスポーズ機能を利用することによってその負担を減らすことができます。(例：F #マイナーから、1セ
ミトーン低いFマイナーへ。)

トランスポーズ

1セミトーン分のトランスポーズを行うためには、**ファンクション**と**トラン
スポーズキー**を押します。**バリュ
+ / -**をつかって調を変更します。トランスポーズ幅は、-6~5セミトーンの間で指定することができ、トランスポーズが行われてない場合には**0**がディスプレイに表示されます。**ファンクション・キー**をもう一度押すと、変更したキーが設定され、移調モードを抜け出すことができます。設定された移調セッティングは、NUMA Pianoの電源を切るまで有効となります。

本体左側に設置したピッチホイールを使って、±2セミトーンの間で自由にピ
ッチを変えることができます。一度ホイールから手が離されると、ホイールは自動的に中央に戻る設計となっており、ピッチ変更が施されていない状態に戻ります。

ピッチホイール

ディスプレイ - バリュー +/-
(Value +/-)

・スプリット・ポイント / オクターブの調整、表示

オクターブ・ロウワー (Octave Lower) / アッパー

・レイヤー1/2のオクターブ、またはロウワーとアッパー・スプリット・ゾーン



スプリット (Split) - ポイント

・スプリット・モード オン / オフ
・スプリット・ポイントの定義

ファンクション (Function)

・オクターブ・ロウワー / アッパー、
ポイントと組み合わせて使用

サウンド・バンク

・レイヤー・サウンドの選択

バランス (Balance)

・レイヤー1/2とスプリット・ゾーンのレベルを調整

レイヤー

キーボード全域において2つの音色を同時に演奏するには、演奏したい音色を同時に押します (例: **Grand Piano & Pad 2**)。

スプリット

2つの音色を異なる音域によってキーボードに割り振ることを、スプリットと呼びます。スプリット・ボタンを押すと、この機能が有効となりライトが点灯します。ハイパートのスプリット・ゾーンには、最後に選んだ音色が自動的に使用されます。ハイパートのゾーンの音色を変更したい場合は、選択したい音色ボタンを押してください (例: **Bright Piano**)。ローパートの音色変更は、スプリット・キーと選択したい音色を同時に押します (例: **Split & Bass 1**)。スプリット機能を無効にし、88鍵盤全域で同じ音色で演奏したい場合は、スプリット・キーを再度押してください。

スプリット / レイヤー・レベル

アウトプット・セクションのバランス・ノブを使ってレイヤー (またはスプリット) された音色の相対バランスを調整することができます。

スプリット・ポイント

スプリットするポイントを調整するには、ファンクションとポイントを押します。すると、ディスプレイはスプリットされたポイントを表示します。キーボードもしくはバリュー+/-キーを使って低い方のスプリット・ゾーンの境界を選択します。ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、スプリットポイント・モードから抜けることができます。

オクターブ・ロウワー / オクターブ・アッパー

レイヤーもしくはスプリットされた音色のオクターブ単位の移調を個別に設定することができます。ファンクション・キーとオクターブ・ロウワーを押すと、ローパート / レイヤー2の調整を行うことができます。ファンクション、オクターブ・アッパーキーを押すと、ハイパート / レイヤー1の調整ができます。0とディスプレイに表示されている場合は、オクターブ・トランスポーズが行われていない状態を意味します。設定できる値は-3~3で、±3オクターブの調整が可能です。ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、オクターブ・ロウワー / アッパーモードから抜けることができます。

ディスプレイ - バリュー +/- (Value +/-)

・ ホールド / エクスプレッションの調整、表示



ファンクション (Function)

・ ホールド / エクスプレッションと組み合わせて使用

ホールド - エクスプレッション

・ レイヤーとスプリット・ゾーンにペダル・アサイン

ファンクションとホールド・キーを押すと、どのスプリット・ゾーン（またはレイヤーされた音色）に対してサステイン・ペダルを有効にするかを選択することができます。ディスプレイは下記のオプションを表示しますので、バリュー +/- キーを使って選択します。

ホールド

ディスプレイ / オプション	ホールド適用時
U-L (アッパー / ロウワー)	両方のスプリット・ゾーン / レイヤー
U (アッパー)	アッパー・スプリット・ゾーン / レイヤー 1
L (ロウワー)	ロウワー・スプリット・ゾーン / レイヤー 2

ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、ホールド・モードから抜けることができます。

メモ: この機能は、スプリット・モードにおいてローパートでベース、ハイパートでピアノが選択されて、サステイン効果を無効にしてウォーキング・ベースを弾く場合に非常に便利です。



ファンクションとエクスプレッション・キーを押すと、どのスプリットゾーン（またはレイヤーされた音色）に対してエクスプレッション・ペダルを有効にするかを選択することができます。ディスプレイは下記のオプションを表示しますので、バリュー+ / -キーを使って選択します。

エクスプレッション

ディスプレイ / オプション	エクスプレッション適用時
U-L (アッパー / ロウワー)	両方のスプリット・ゾーン / レイヤー
U (アッパー)	アッパー・スプリット・ゾーン / レイヤー 1
L (ロウワー)	ロウワー・スプリット・ゾーン / レイヤー 2

ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、エクスプレッションモードから抜けることができます。

メモ: この機能は、レイヤー・モードでピアノとパッドがレイヤーされている場合、パッドのボリュームのみをコントロールしたい場合などに便利です。



フリー

- ・モジュレーション・スピード
- ・ビブラート



ディスプレイ・バリュー +/-

- ・アサインしたエフェクトの調整、表示



アマウント / ミックス

- ・モジュレーションの強さ
- ・リバーブ・ミックス (ドライ / ウェット)



ファンクション

- ・アサインと組み合わせて使用

セレクト - アサイン

- ・エフェクト・セクション
- ・エフェクト・アサイン

エフェクト

モジュレーションもしくは、リバーブ・エフェクトを選択するには、対応する選択ボタンをタップすることによってアルゴリズムを変更します。選択されたエフェクトのLEDが点灯し、LEDが点灯していない場合は、有効なエフェクトが何も選択されていない状態を意味します。両方のエフェクトは独立しており同時に使用することができます。エフェクトのかかり具合を調節するには、アマウントもしくはミックス・ノブを使用します。

スプリット / レイヤーへのエフェクト・アサイン

スプリットもしくはレイヤー・モードでは、エフェクトは、片方もしくは両方の音色に対して適用することができます。対応するアサイン・ボタンを押しながら、ファンクション・キーを押し続けます。ディスプレイは下記のオプションを表示しますので、バリュー +/- キーを使って選択します。

ディスプレイ / オプション	エフェクト適用時
U-L (アッパー / ロウワー)	両方のスプリット・ゾーン / レイヤー
U (アッパー)	アッパー・スプリット・ゾーン / レイヤー 1
L (ロウワー)	ロウワー・スプリット・ゾーン / レイヤー 2

ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、エフェクト・アサイン・モードから抜けることができます。



メモ: この機能はスプリット・モードにおいて、ハイパートでロータリー・エフェクトがかかったオルガン、ローパートでロータリー・エフェクト無しのベースを演奏する場合に非常に便利です。両エフェクトは、個別に割り当てを調整でき、選択されたエフェクトのオン / オフを設定することができます。

フリー・ホイール

フリー・ホイールでは、MIDI標準のモジュレーションデータを送るか、内蔵モジュレーション・エフェクトの2番目のパラメータ (モジュレーション・スピード) を制御することができます。フリー・ホイールの設定を行うには、ファンクションとフリー・ホイールボタンを押します。ディスプレイはモジュレーションとエフェクトに関するオプションを表示しますので、バリュー +/- キーを使って選択します。フリー・ホイールを使ってモジュレーションのスピードを調整したい場合は、ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、フリー・ホイール・モードから抜けることができます。

ディスプレイ - バリューストック +/- (Display - Value +/-)

・ 値の調整、表示

ベロシティ / 固定ベロシティ (Velocity / Fixed Velocity)

・ ベロシティ・カーブの設定



ファンクション (Function)

・ ベロシティ、固定ベロシティ、フリー・ホイールと組み合わせて使用,

フリー・ホイール (Free Wheel)

・ フリー・ホイールの機能

ベロシティは、キーボードのタッチ感を決定します。

NUMA Pianoでは、5種類のベロシティ・カーブが用意されており、この中から選択することができます。ベロシティ・モードに入るには、**ファンクション**と**ベロシティ・キー**を押します。ディスプレイは、**F / L / M / H / Ft**のカーブを表示しますので、**バリューストック +/-**を使って好みのベロシティを選択してください。なお、それぞれのカーブには次のような特徴がございます。

ベロシティ

カーブ	ダイナミックレンジ	特徴
F (固定)	 <i>pp</i> <i>ff</i>	強弱に関わらず、ベロシティが一定の値に固定されます。 (例：オルガンなどに最適)
L (低)	 <i>pp</i> <i>ff</i>	弱いタッチで弾いても、比較的大きなサウンドを得られます。 (例：騒々しいライブや環境での演奏に向いています)
M (中)	 <i>pp</i> <i>ff</i>	LowとHighの中間の感度を提供します。大きな音を演奏するには、少しだけ強さが必要です。
H (高)	 <i>pp</i> <i>ff</i>	全域にわたるダイナミックレンジにアクセスするので、グランド・ピアノの感覚に近いタッチとなります。非常に繊細な演奏が可能ですが、大きい音で演奏するには、それなりの強さが必要となります。
Ft (Fatarタッチ)	好みのタッチを設定できます。	次のページをご参照ください。

ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、ベロシティ・モードから抜けることができます。

ファンクションと**固定ベロシティ**を使って、固定値を選択することができます。設定可能レンジは**0~127**までとなっており、**バリューストック +/-**を使って設定します。

固定ベロシティ

ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、固定ベロシティ・モードから抜けることができます。

ディスプレイ - バリューストア +/-
(Display - Value +/-)

・値の調整、表示



**ファンクション
(Function)**

・ストア(store)と組み合わせて使用

**ストア
(Store)**

・プリセットの記憶

**Fatar タッチ
(Fatar Touch)**

・オリジナル・ペロシティ・カーブの作成

Fatarタッチ

Fatarタッチ機能を使うと、演奏スタイルや、外部音源モジュールに合わせてお好みのペロシティ・カーブを作ることができます。

Fatar タッチボタンを押し、鍵盤の演奏を始めます。すると、NUMA Pianoはあなたのタッチを習得し始めます。NUMA Pianoは、1分間に渡ってあなたの演奏を習得しますが、早々に切り上げたい場合は**Fatar タッチ**を再度押します。ディスプレイに**Y**と**N**が交互に表示されますので、鍵盤を再度演奏して生成されたペロシティ・カーブをチェックします。結果に満足であれば、**バリューストア - (Y)**を押します。これで、あなたのFatarタッチカーブが保存され、ペロシティ・カーブ・セッティング (13ページ) で使用可能となりました。保存を取り消すには、**バリューストア + (N)**を押してください。

プリセットの保存

調整した設定をプリセットとして保存するには、**ファンクション**と**ストア**を押します。バリューストア +/-を使って、P01~P50までの中からプリセットの保存先を選びます。**ファンクション・キー**を再度押すと、**Y**と**N**が交互に表示されるので、**バリューストア - (Y)**を押して保存を決定します。また、プリセットには次のパラメータが保存されます。

サウンド	ペダル・アサイン
レイヤー	エフェクト - ミックス / アマウント
スプリット	エフェクト・アサイン
スプリット / レイヤー - バランス	フリー・ホイール
スプリット・ポイント	ペロシティ・カーブ
オクターブ・アッパー / ロウワー	固定ペロシティ・バリューストア

保存を中止するには、**バリューストア + (N)**を押してください。

注意: プリセットP01~P24は、ファクトリー・プリセットが保存されていますが、こちらにも書き込みが可能です。

ディスプレイ - バリュー +/- (Display - Value +/-)
・値の調整、表示

ファンクション (Function)
・パニック、マスター・チューン、システムと組み合わせて使用

マスター・チューン (Master Tune)
・ NUMA Piano のチューニングを変更



パニック (Panic)

・ 接続しているすべてのMIDI デバイスの再生を強制的にストップ

システム (System)

・ ファームウェア・バージョンの表示
・ USB経由でのアップデート

P01~P24までのファクトリー・プリセットを復元したい場合は、まず NUMA Pianoの電源を切ります。次に**ファンクション**、**パニック**、**Store**の3つのキーを押したままの状態、NUMA Pianoの電源を入れます。ディスプレイに**FAC**と表示されるので、3つのボタンから手を離してください。これでファクトリー・プリセットが復元されたはずですが、

ファクトリー・プリセットの復元

注意：この機能を使用すると、プリセット番号P01~P24にそれまで保存されていた設定は上書きされます。また、Fatarタッチペロシティカーブについても、オリジナルのファクトリー設定に戻されることになります。



MIDIノートが鳴りっぱなしになるなど、なんらかの予期せぬ出来事が起きた場合、**ファンクションとパニックキー**を押すことで、MIDIコントローラ123 (all notes offコマンド) を16全てのMIDIチャンネルに送ることができます。このコマンドでは、接続された全ての音源モジュールとNUMA Piano自体の音を停止することができます。ディスプレイには一時的に**PAN**と表示されます。

パニック

ファンクションとマスター・チューンを押すと、NUMA Pianoとその他の楽器のチューニングを行うことができます。-99~99セント (セミトーンの100分の1) の間で設定できます。値がディスプレイに表示され、バリュー +/- を使って調整可能です。ファンクション・キーを再度押すと、変更した設定が保存され、マスター・チューン・モードから抜けることができます。なお、設定したマスター・チューン設定はNUMA Pianoの電源を切るまで有効となります。

マスター・チューン

注意：NUMA Pianoは他のMIDI音源のチューニングを調整して、NUMA Pianoのチューニングに適合させることができます！ この機能を利用するには、外部MIDI音源モジュールの必要条件を満たしている必要があります。詳しくは16ページの「マスター・チューン」をご覧ください。



ファンクションとシステム・キーを押すと、NUMA Pianoのファームウェア・バージョンを表示します。ファームウェアと音色ライブラリの更新はUSBを介して行います。

システム

NUMA Pianoのファームウェアと音色ライブラリの更新を行うには、**システム・キー**を押しながらNUMA Piano本体の電源を入れます。ディスプレイに**SYS**と表示されると、NUMA Pianoにデータを転送可能な状態となります。転送に必要なコンピュータソフトウェアは、ウェブサイトwww.studiologic-music.comよりダウンロードすることができます。データ転送が成功したらNUMA Pianoの電源を切り、再び電源を入れます。

オン / オフ (On/Off)

・ MIDI データ送信のオン / オフ

ディスプレイ - バリュー + / - (Display - Value +/-)

・ MIDI データの調整、表示

**ボリューム (Volume)**

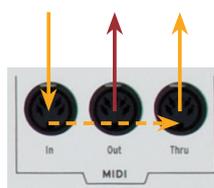
・ MIDI CC 07 の送信

MIDI

・ 送信する MIDI データの選択

MIDIコネクション

MIDI (Musical Instruments Digital Interface)は、音源モジュール、シンセサイザー、ドラムマシンや音楽ソフトウェア間の標準のデータ転送規格です。デバイスのMIDI アウトは、他の機器のMIDI Inに接続されます。MIDI インで受け取ったデータは、MIDI スルー端子にコピーされます。



NUMA Pianoは、MIDIデータをMIDI アウト端子とUSBポートから送り出します。MIDIデータの受信はMIDI インで行われます。

マスター・キーボード機能

NUMA PianoがMIDI アウトとUSB経由でMIDIデータを送るか否かを、MIDI モジュール・セクションで**オン / オフ・ボタン**を使って選択します。

ボリューム・ノブは、MIDIコントローラ7番 (MIDIボリューム) に対応しています。マスター・キーボード機能では、プログラムチェンジ、Bank LSB、Bank MSB、チャンネルとオクターブの設定を行えます。それぞれ値はディスプレイに表示され、**バリュー + / -**を使用して調整ができます。



MIDIチャンネル16: MIDIチャンネル16では、NUMA Pianoで使用するボタン、ノブ、キー全てのMIDIデータを送信します。

MIDIとUSBを使ってコンピュータやその他のMIDI機器からNUMA Pianoを演奏したり、NUMA Pianoの音色を制御することができます。

NUMA Pianoの内蔵音源は、General MIDI (GM) に準拠したプログラムチェンジ・ナンバーを使って選択することができます。

サウンド・セレクション

音色名	プログラムチェンジ・ナンバー	
Grand Piano	0	1
Bright Piano	1	2
E Piano 1	4	5
E Piano 2	2	3
E Piano 3	5	6
Clav	7	8
Pad 1	50	51
Pad 2	48	49
Organ 1	17	18
Organ 2	18	19
Bass 1	32	33
Bass 2	33	34

注意：プログラムチェンジは、1～128番に割り振られていますが、今回は3番目の段の番号を参照してください。

NUMA Pianoでは、MIDI経由で2音色を同時に演奏できます。1つ目の音色はMIDIチャンネル1に、2つ目はチャンネル2に割り振られています。また、両方のチャンネルにおいて12の内蔵音色全てを選ぶことができ、選択モードから独立しています（例：スプリット・モード）。

選択された全ての音色のLEDが点灯します。

両エフェクト・プロセッサともに、MIDIコントロール・チェンジを使って制御できます。

エフェクト・コントロール

パラメータ	MIDI CC	値
リバーブ・ミックス	91	0 - 127
リバーブ・アルゴリズム	80	0 = オフ, 1 = ルーム, 2 = ホール, 3 = ティレイ
モジュレーション・アマウント	93	0 - 127
モジュレーション・アルゴリズム	81	0 = オフ, 1 = コーラス, 2 = フェイザー, 3 = ロータリー, 4 = トレモロ
モジュレーション・スピード	13	0 - 127

調整の記録

NUMA Pianoは、MIDIチャンネル16全てのパラメータ調整値を送ります。例えば、ロータリー・エフェクトの大胆な変更などをMIDIシーケンサーに記録する場合などに有効です。

マスター・チューン

NUMA Pianoは、マスター・チューニング情報をエクスクループ・メッセージとして送信できます。これは、MIDIチャンネルとは無関係の独立したデータです。この機能を利用するには、まずお手持ちのMIDIモジュールの電源を入れてください。

音源モジュールの多数はこのメッセージを理解することができ、メッセージを受け取るとNUMA Pianoのチューニングに従って、自動的に音源モジュール自体のチューニングを合わせます。MIDIメッセージを処理できるかどうか、どのような設定しておく必要があるか等は、お手持ちの音源モジュールのマニュアルをご参照ください。

注意：接続された音源モジュールやシーケンス・ソフトウェアがMIDIシステム・エクスクループ・メッセージを受信、処理できるかどうかを必ずお確かめください。また、この機能は初期設定で無効に設定されているケースもございます。MIDI SysEx機能を有効にする方法につきましては、お手持ちの機器、ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。さらに、機器のMIDIチャンネル（「ベーシック・チャンネル」と表記される場合もあります）と、NUMA PianoがMIDI SysExデータを送信しているMIDIチャンネルを同一に合わせる必要があります。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
NUMA Pianoの電源が入らない。	電源が供給されていない。NUMA Piano内部のフューズが飛んだ可能性があります。	電気が利用可能な状態であることを確認し、電源スイッチを入れてください。電源ケーブルと内部フューズを確認し、必要であれば交換してください。
NUMA PianoからMIDIデータを送信できない。	MIDIモジュールがオフの状態になっている可能性があります。	オン / オフ・キーを押して、MIDIモジュールをonにしてください。..
NUMA PianoをMIDI経由で制御できない。	MIDIデータを送っているチャンネルが1もしくは2以外になっている。	MIDIデータを送る場合には、必ずチャンネル1か2で送ってください。
NUMA Pianoが常に一定のペロシティ値を演奏 / 送信する。	固定ペロシティが設定されている。	違うペロシティ・カーブを選択してください。
音が鳴らない。	サウンド・バンクがオフになっている。ボリュームが0に設定されている。ケーブル / ヘッドフォンの接続が間違っている。サスティン・ペダルがエクスプレッション・ペダル入力に接続されている。	オフ / オフ・ボタンを押してサウンド・バンクをオンにしてください。ボリュームを上げてください。ケーブル / ヘッドフォンを変更してください。エクスプレッション・ペダルに接続されたサスティン・ペダルを外してください。..
スプリットまたは、レイヤー・モードにおいて片方の音しか聞こえない。	バランス・ノブが左右一方に振り切れている。	バランスを変更してください。
オーディオ入力の音が聞こえない。	オーディオ入力のボリューム・レベルが最小に設定されている。外部の音がプレイされていない。ケーブル接続が間違っている。	レベルを調整してください。外部機器がオーディオ信号を発しているかどうか確認してください。接続ケーブルを変更してください。
サスティン・ペダル踏んでいなくても、音が鳴りっぱなしになる。踏むと止まる。	サスティン・ペダルの極性が逆転している。	接点が開いている状態で、サスティン・ペダルを接続してください。
エフェクトの量やエフェクトミックスなどの調整情報がNUMA Pianoから送信されない。もしくは、シーケンスソフトに記録されない。	NUMA PianoのMIDIチャンネルが16に設定されていない。シーケンサーのMIDI入力がチャンネル16もしくは、「全ての入力」に設定されていない。	MIDIモジュールのMIDIチャンネルを16に設定してください。シーケンサーのMIDI入力をチャンネル16もしくは、「全ての入力」に設定してください。
他のMIDI音源モジュールが、NUMA Pianoのチューニング設定に自動追従しない。	音源モジュールがSysExメッセージを無視している。MIDIチャンネルが一致していない。お手持ちの音源モジュールがこの機能に対応していない。	音源モジュール側で、SysExメッセージを受信するように設定してください。NUMA Pianoと音源モジュールのMIDIチャンネルを同じに合わせてください。

保証について

すべてのFatar社Studiologicの製品は、細心の注意を払って製造、測定、動作テストを行っています。これにより、2年の保証期間を設けています。サポートを受けるために、お客様のnuma pianoのご登録をお願いいたします。不適切な運搬、設置、取扱いが原因による故障につきましては、保証の対象外とさせていただきますのでご注意ください。

これらは、伊FATAR社ならびに代理店が定める一般的条件に基づいています。機器の価格を上回る補償は、除外されますのでご了承ください。

CE-Conformity



FCC-Regulation

FATAR srl
Zona Ind.le Squartabue
62019 Recanati MC Italy

FATAR社は、この製品がヨーロッパの基準に従って製造された製品であることを宣言いたします。

- ・ 73/23/EWG 低電圧指令
- ・ 89/336/EWG EMC指令
- ・ DIN EN 55103-1&2 オーディオ機器の電磁両立性

承認なく機器を改造された場合、この宣言は無効となります。

RoHS-Conformity



この製品は、2002/95/ECの基準に沿って製造されています。

Disposal / WEEE



EG指令2003/108/EGの第一の目的は、電気と電子機器(WEEE)の浪費の防止です。それに加えて再利用、リサイクル、回収により廃棄物の削減を目標としています。環境保全のためにご協力をお願いいたします。



State of the art

最良の品質を保証するために、Fatar社製全てのStudiologic製品は、最新の技術で設計されています。告知なく、アップデート、仕様の変更、改良等を行うことがございます。技術仕様ならびに製品の外観は本マニュアルと異なる場合がございますので、ご了承ください。

Trademarks

本マニュアルの全ての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

Copyright

本マニュアルの一部もしくは全部を、著作権利権者の許可なく、いかなる形式において複製、転送することを禁止いたします。

カスタマー・サポート

本マニュアルをご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigentカスタマーサポートまでご連絡ください。なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigentへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■Dirigentへのご登録方法：

Dirigentサポートページにアクセスし、Studiologicオンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■Dirigentカスタマーサポート：

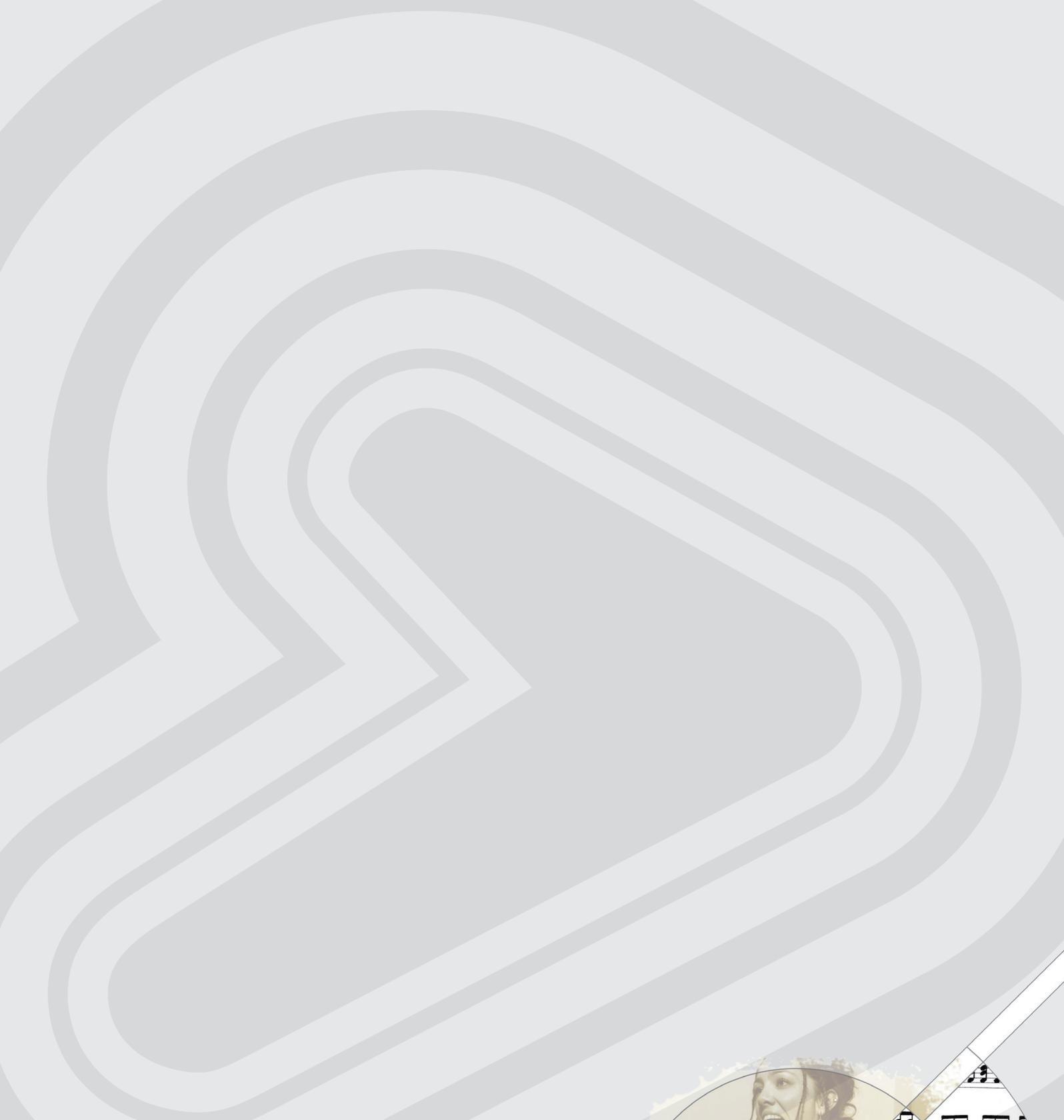
電話でのお問い合わせの際は、Dirigentへのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigentサポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

電話番号：03-5159-1822（受付時間：平日10:30～17:00）

休業日：土日祝日および弊社特別休業日

Dirigentサポートサイト：<https://www.dirigent.jp/support/>

Dirigent



> studiologic[®]
made to perform

Mar. 20. 2013

